

カメムシ類を防除して斑点米を防ぎましょう!!

7月下旬の水田周辺雑草地における斑点米カメムシ類の生息密度は平年より多く、すでに水田内への侵入もみられます。出穂とともに、水田内への侵入量も増加してくるので、穂揃期と糊熟初期の防除を徹底しましょう。

1 防除対策

- 防除適期は、第1回目が穂揃期、第2回目が糊熟初期で、早生品種は、第1回目が7月17～21日頃、第2回目が7月24日～7月31日頃の見込み。
- 斑点米産出能力の高いホソハリカメムシ、トゲシラホシカメムシなどの発生が多い場合は、さらに収穫14～7日前に追加防除する。
- 粒剤での防除は、薬剤によって散布時期が異なるので注意する。
- カメムシ類は、水田の畦畔雑草地にもいるので、本田防除の際は畦畔も含めて防除する。また、カメムシ類は、日中はあまり活動しないため、夕方か早朝に薬剤散布を行う。
- 出穂後の草刈りはカメムシ類の水田内への侵入を助長するので行わない。

【ニカメイガ多発圃場での防除】

- ニカメイガが多い地域では、ニカメイガにも登録のある農薬を使用して同時防除を行う。なお、ニカメイガ第二代幼虫の防除適期は7月20～25日頃の見込み。



アカスジカスミカメ成虫

2 防除薬剤

(1) 粉剤・液剤

防除時期	薬剤名
(早生・中生)	エルサンバツサ粉剤 20DL★
第1回目：穂揃期	トレポン粉剤 DL★
(出穂3～5日後頃)	アミスタートレポン SE
第2回目：糊熟初期	MR. ジョーカー粉剤 DL
(出穂10～14日後頃)	キラップジョーカー粉剤 DL
	キラップジョーカーフロアブル
	スタークル粉剤 DL★
	アルバリン粉剤 DL★
	ビームエイトスタークルゾル
	ビームスタークル微粒剤 F
	ダントツH粉剤 DL★
	ラブサイドダントツフロアブル

★はニカメイガにも登録あり

(2) 粒剤

- ・粒剤は薬剤によって散布時期が異なるので注意する。
- ・粒剤の散布時は水深3cm程度の湛水状態とし、自然落水する。

稲の生育が早くなっているため、生育に合わせて防除が遅れないようにしましょう！

☆最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllg301.do>) を確認して下さい